

令和8年度 第1回学校運営協議会 議事録

【概要】

日 時：令和8年7月15日（水）午後7時～午後8時30分

会 場：本館2階 応接室

参加者：（委 員）丹羽会長、井関副会長、古川委員、佐藤委員、岸委員、堀田委員
（事務局）准校長、教頭、首席、記録

【配布資料】

- ① 学校運営協議会 次第
- ② 令和8年度 学校運営協議会 実施要項
- ③ 学校運営協議会 委員名簿
- ④ 第1回 学校運営協議会活動報告資料
- ⑤ 令和8年度学校経営計画及び学校評価
- ⑥ 令和7年度学校経営計画及び学校評価
- ⑦ 学校経営計画及び学校評価 補足資料
- ⑧ 令和9年度使用教科用図書選定理由書

【内容】

1. 開会のあいさつ（准校長より）

2. 委員紹介（教頭より）

3. 会長・副会長選出（首席より）

会 長：丹羽委員

副会長：井関委員

4. 報告

① 学校概要について（首席より）

- ・生徒数の報告・1年生編転入生徒数の推移
- ・卒業生の進路について
- ・行事報告
- ・部活動報告
- ・各分掌からの報告

② 令和8年度 学校経営計画について（准校長より）

- ・令和7年度の成果と令和8年度の目標

③ 令和9年度 使用教科書選定について

- ・選定状況の説明 最終報告は次回

5. 協議（進行・丹羽会長）

○丹羽会長より

生徒の実情に合わせて学校がとてもきめ細やかな対応をしているように見えた。

Q. 今の時期は学校に来られない生徒が出てきたりする時期ではあるが、学校への行きづらさを感じているような生徒は居ますか？

○准校長より

A. 1年生は高校生になり様々な環境の変化や気持ちの変化があり、行きづらくなる事もあるが、2年生以降は学校にも慣れ、頑張って登校している。
日中仕事をしている生徒は、仕事の残業で学校へ来るのが難しい場合もある。仕事と学校を両立させることの難しさを感じていると思う。
寄り添う教育としての取り組みとして対応していく。

○丹羽会長

学校内でのイベントなど、子ども達が楽しさや横のつながりの充実感を見つけるきっかけがたくさんある。人と人との関わりや地域との交流は学ぶところがたくさんあるので継続していただきたい。

○井関副会長より

いちご狩り・芋ほり・溝掃除などの連携が地域として、とてもありがたい。

Q. 区長としては甘えている部分もあるが、生徒数も少なくなり地域連携は学校側にとって負担にはなっていないか？

○准校長より

A. 地域の方々との交流になるので続けていきたいと思っている。

○井関副会長

Q. 今年の新入生は活発な傾向の子が多いですか？おとなしい傾向の子が多い？

○准校長

A. 全日制含め様々な生徒がいる。もちろんエネルギッシュな生徒もいれば、落ち着いている生徒も居ています。
定時制としては勤労学生が減っており大阪府の定時制全体がその傾向。
社会の変化もあり、通信制の学校が候補になり移動していく生徒もいる。

○佐藤委員より

毎年卒業生に就職していただいており現在は4名働いている。戸惑っている部分もあるが、会社にも溶け込み気持ちよく働いているように見受けられます。

本社では4月からのひと月は様々な部署でのサポート、GW明けに正式配置を行い、6月にもう一度面談を行う。こまめに社員の声を聞き会社に慣れてもらうため。従業員の健康健全があり、良い物が作れると思っている。教員の健康健全があり、良い教育をできと思うので、生徒のためにも教員の環境整備がされるとよい。

○岸委員より

学校主催でたくさんのイベントを打っていることに驚いた。

Q. 働き方改革への取り組み方に注目した。年間残業時間を減らす取り組みが知りたい。

○准校長

A. 見える化をして意識してもらっている。定時制の時間帯では、電車の時間など交通機関の影響が大きいのも事実。大阪府でも各学校様々な取り組みを行っている。卒業生の進路として、私学や通信制を選択する子どもが増えた。時代の変化とともに子ども達も変化してきている。

○岸委員

様々な選択肢が増えたと中学としても感じている

○丹羽会長

大学に入学してくる生徒も多様な生徒が増えてきている。
選択肢が多様になった一方、選ぶことも大変になった。

○堀田委員より

子どもはこの学校へ通うようになってから毎日登校できている。
先生方のサポートが手厚いと感じているし、学校と人と関わることが大切だと思う。

○丹羽会長

保護者の立場でも手厚いと感じているということは良いこと。

○佐藤委員より

人手不足で求人を出してもなかなか応募がない。何千件と求人があるなかで、
選ぶのも苦勞と思う。指定校求人ですれども来ていただければと思っている。

○古川委員より

生徒のことをよく考えていて良い学校だと思う。

Q. いろいろなことを進めていて大変だと思うが、勤退管理はどういうふうに行っていますか？退勤記録後も働いている職員の方はいませんか？

○首席

A. 電子で記録している。退勤記録後に仕事している様子は見受けられない。

○古川委員

皆さん健康で長く勤務できるように働いてほしい。

○堀田委員より

「さくら連絡網」が保護者も登録できるようになったことで、子どもが教えてくれること以外の今まで見えていなかった学校の情報が見えるようになった。もやもやしたことなど出てくる時期だと思うので、生徒のことを見ていてほしい。

○准校長

「さくら連絡網」は今年度から管理が大阪府に移管され、全府立学校が使用している。ただ、先日の大雨では各校が休校の連絡を一斉にしたことでサーバーがパンクしたという事も聞いている。

そのような事態もあったので本校 SNS やHPでも情報を発信していくので確認していただければと思う。

6. 閉会のあいさつ（准校長より）